

目次

(247) 共用品推進機構関連記事

「バリアフรีเมーブメントVol.58. / (財)共用品推進機構 森川美和」

(248) 賛助会員ニュース

「ショールームの見積もりシステムに『デジタルペンソリューション』採用 / INAX」

「トイレのフタ開閉・照明点灯 人体感知で自動に / TOTO」

(249) 各種催しとお知らせ

「講演会『未来が見える！自然に学ぶユニバーサルデザイン』のご案内」

「KAST教育講座『福祉のテクノロジー 人を支える工学の基礎技術』

～福祉の視点からみる機器開発・市場拡大に向けた技術の『ループ』とは？～」

「もっと優しい旅へのフォーラムのご案内 / もっと優しい旅への勉強会」

(250) その他、各種関連記事

「障害者らに優しい観光へ モデルツアーで課題確認 / 沖縄バリアフリー
ツアーセンター」

「聴覚障害者の『耳』に / 札幌学院大『バリアフリー委員会』」

(251) 新刊紹介

『全国知的障害児・者施設実態調査報告書 平成18年度』

『人工内耳とコミュニケーション 装用後の日常と「私」の変容をめぐる対話』

『これからはじめる医療・福祉の質的研究入門』

(247) 共用品推進機構関連記事

「バリアフรีเมーブメントVol.58. / (財)共用品推進機構 森川美和」

今号では、サントリー(株)が取り組むバリアフリーについて紹介。ビンの左右横についた“くびれ”で持ちやすくしただけでなく、ビンの肩周辺に「ワイン」という点字も付いているオーガニックワイン「葡萄のことば」と、より多くの、幅広いお客さまに満足いただけるホールを目指して全面改修を行い、2007年9月にリニューアルオープンした「サントリーホール」を紹介している。

(『週間ポスト』2008年2月8日号より抜粋)

(248) 賛助会員ニュース

「ショールームの見積もりシステムに『デジタルペンソリューション』採用 / INAX」

株式会社INAXは、ショールームの見積もりシステムに株式会社日立製作所の『デジタルペンソリューション』を採用した。日立の『デジタルペンソリューション』は、専用用紙に専用ペンで記入した文字を自動的に電子データに変換するシステムで、すでに流通業や医療分野など多くの実績があり、今回、INAXの見積もりシステムと連携することになった。デジタルペン

で書き込んだ内容はそのまま見積書や提案書に速やかに反映される。これにより、来館者を待たせることなくその場で見積書や提案書を渡すことができ、顧客サービスの向上につながる。

「トイレのフタ開閉・照明点灯 人体感知で自動に / TOTO」

TOTOは、人体感知機能を使って照明やフタの開閉などを自動化したカウンター付手洗い器「レストルームドレッサー 新システムシリーズ」を発売する。同社製の主力大便器と組み合わせて使う。消費電力量を自動で調節する機能を持たせることで、省電力にもつなげる。トイレ利用時だけ、手洗い器足元の照明やふた開閉装置が動作する。最新型トイレは温水洗浄便座や足元暖房装置など多くの電装部品を組み込んでおり、消費電力が築年数の長い住宅のトイレの許容量を上回る事例もあるという。同社の新システムだと、トイレのリフォームに際し、電気回線の増設工事が不要になるという。価格は361,410 765,713円(施工費用は別)。

(249) 各種催しとお知らせ

「講演会『未来が見える！自然に学ぶユニバーサルデザイン』のご案内」

初めて学ぶ人にもわかりやすく、また発展しつづけているユニバーサルデザイン(できるだけ多くの人々が利用可能であるようなデザインにすること)の最先端や、技術について、楽しくわかりやすく、お伝えします！

日時:2008年2月16日(土) 13:00 14:30

場所:ハイライフプラザいたばし

板橋区板橋1-55-16

JR埼京線板橋駅下車徒歩1分

講師:赤池学氏(株)ユニバーサルデザイン総合研究所代表取締役社長)

申込:当日、直接会場へお越しください。

『身近な商品のユニバーサルデザイン展』(入場無料)も同時開催

日時:2008年2月16日(土) 11:00 17:00

問い合わせ先:板橋区産業振興課商工振興係

TEL:03-3579-2171 FAX:03-3963-6441

E-mail:kb-sshinko@city.itabashi.tokyo.jp

「KAST教育講座『福祉のテクノロジー 人を支える工学の基礎技術』
～福祉の視点からみる機器開発・市場拡大に向けた技術の『ループ』とは?～」

これまで福祉工学の研究開発は、主に、障害を持つ人々の生活支援を目的として行われてきました。少子・高齢化が急速に進みつつある現在、これからの社会は、いわば多くの人々が何らかの障害を持って生活する社会になると言い換えることができるでしょう。障害を持つ人々や高齢者が何を必要とし、福祉や介護の現場で求められる技術やノウハウとは何か。本講座はこうした視点から、福祉工学の基礎について学習することを目的に編成しました。人間工学、医療工学などの基礎学問をはじめ、福祉機器の導入の必要性や産業としての福祉の可能性、役立つ知恵や技術とは何かを把握するとともに、最新の技術についても紹介いたします。

開講期間:平成20年2月21日(木)～2月29日(金)計4日間

<1日単位の受講も可>

開催場所: かながわサイエンスパーク(KSP)東棟内研修室

神奈川県川崎市高津区坂戸3-2-1

JR南部線「武蔵溝ノ口」・東急田園都市線「溝の口」下車

東京大学 先端科学技術研究センター

東京都目黒区駒場4-6-1

京王井の頭線「駒場東大前」下車

募集人員:20名

申込締切:先着順にて承ります

受講料:全日程受講

一般 48,000円

KAST法人賛助会員ならびに神奈川県内在勤の方 38,400円

神奈川県内に在住で個人でのお申込の方 43,200円

基礎編のみの受講 25,000円

1日単位の受講:15,000円

応募者数が大幅に定員を超えた場合は抽選となります。また、抽選にあたっては、全日程を受講される方を優先します。

お問い合わせ先:財団法人神奈川科学技術アカデミー(KAST)

教育研修グループ

TEL:044-819-2033 FAX:044-819-2097

e-mail:ed@newkast.or.jp

「もっと優しい旅へのフォーラムのご案内 / もっと優しい旅への勉強会」

今回のフォーラムでは、実際に「行きたいところ」へ行った体験のある車いすユーザーをはじめとする障害のある方と「行きたいところ」へ行くための支援を行っている方にパネリストとして登壇いただき、フロアからのご意見を交えて、大いに語り合いたいと考えております。皆様のご参加をお待ちしております。

主催:もっと優しい旅への勉強会(代表 黒崎 隆)

テーマ:車椅子ユーザーの旅を考える

「行かれるところから行きたいところへ」

日時:2008年2月23日(土) 13:00 17:00

場所:戸山サンライズ 2F 大会議室

〒162-0052 新宿区戸山1-22-1

東西線早稲田駅もしくは大江戸線若松河田駅 徒歩10分

<http://www.normanet.ne.jp/~ww100006/tizu.htm>

参加費:1,000円(学生500円) 当日、受付にてお支払い願います。

お申し込みはEメールもしくはFAXにて、先着60名様まで受け付けます。

E-mail:info@yasashiitabi.net FAX:03-3416-0440

(250) その他、各種関連記事

「障害者らに優しい観光へ モデルツアーで課題確認 / 沖縄バリアフリーツアーセンター」

障害者や高齢者が参加できるバリアフリー観光の推進策を検証する国の事業として、沖縄モデルツアーが26日から県内で行われている。検証者として神戸市から障害者6人が来県し、うち3人が27日に糸満市摩文仁の平和祈念公園を視察した。施設内のバリアフリーの状況を確認したほか、平和ガイドから沖縄戦についての解説を受けた。関係者は「さらに検証を進め、養護学校の生徒など多くの人に平和学習に来てもらえれば」と話している。年度内に観光メニューをまとめる予定だ。

(琉球新聞・2008年1月29日)

「聴覚障害者の『耳』に / 札幌学院大『バリアフリー委員会』」

メンバーの学生は、聴覚障害のある学生の「耳」になる。90分の講義中、聴覚障害の学生の両隣にノートパソコンを持った学生が座り、教員の話を用意の通信ソフトの画面に打ち込む。パソコンはLANケーブルでつないで入力画面を共有し、常に最新の内容を表示する。聴覚障害の学生は、画面でリアルタイムに講義内容を理解することができる。この「パソコンテイク」と、2人の学生が交代で講義内容をノートに書き込む「ノートテイク」が、同委員会の活動の柱だ。現在、同大に在籍する聴覚障害の学生は8人。07年度は前後期計1222科目で、パソコンやノートによる支援を実施した。04年からは、車いすの学生の通学をサポートするなど、活動の幅を広げている。

(朝日新聞・2008年1月28日・29面より一部抜粋)

(251) 新刊紹介

『全国知的障害児・者施設実態調査報告書 平成18年度』

平成18年度の全国知的障害施設実態調査報告、全国知的障害児施設実態調査報告、全国知的障害者通所更生施設実態調査報告、および平成17年度の全国知的障害児通園施設実態調査報告を収録。

編集: 日本知的障害者福祉協会

発行: 日本知的障害者福祉協会

本体価格: 3,000円

ISBN: 978-4-902117-12-7

『人工内耳とコミュニケーション 装用後の日常と「私」の変容をめぐる対話』

1994年に健保適応が認められて以来、急速に装用が進んでいる人工内耳。2人の子どもと2人の中途失聴の成人女性との対話を通じて、人工内耳装用後、しだいに豊かにふくらんでいく生活世界を明らかにする。

著: 黒田 生子(くろだ・せいこ)

発行: ミネルヴァ書房

本体価格: 1,800円

ISBN: 978-4-623-05037-6

『これからはじめる医療・福祉の質的研究入門』

看護学やリハビリテーション学といった医療分野、社会福祉学等において、質的研究の初学者が知っておきたいポイントをまとめた解説書。著者のこれまでの研究の経験、大阪府立大学における授業、学会講演を基にした一冊。

著: 田垣 正晋(たがき・まさくに)

発行: 中央法規出版

本体価格: 2,000円

ISBN: 978-4-8058-2965-3

(編集後記)

- ・年度末はじめの一月から、さらに年度末が加速する二月に、実感を伴いながらの突入です。
- ・寒さも厳しき折、どうかみなさま、お身体ご自愛ください(星川安之)

<http://kyoyohin.org/>